

## 猪の瀬戸再生・保全活動の今後についての私見

(文責：児玉)

9月の活動では湿原内・城島川上流部などに散乱・堆積していたタイヤを搬出し、処理業者の好意により、引き取ってもらうことができました。また放置車両も警察当局が遺棄物と認め、撤去が可能になりました。さらに上流部は森林管理署が視察を行うこととなりました。それらは代表が熱心にお役所回りをして、実現させたものです。

しかしお役所でできることと私たちでできることとはおのずから異なります。私達の本来の仕事は、猪の瀬戸の植生を再生し、湿原の姿を取り戻すことにあります。それにはきめ細かな活動が必要であり、お役所仕事にはなじみません。多くの人手が必要です。多くの人々に関心を持っていただき、理解していただくことが先決です。

少数精鋭のプロ集団にするというのも一つの考え方です。しかしその場合、美しい自然が再生されたとしても、一般市民は自分たちとは関係のないことだ、という意識を持つようになる恐れがあります。

また、一般市民は「仕事人」ではありません。楽しいことを求めて行動しているのです。ボランティア活動もきれいな自然が見たい、きれいな花が見たいという「楽しみ」のために参加している人がほとんどではないでしょうか。仕事ではありませんから、楽しくなければ長続きはしません。きれいな自然に触れ、日常のストレスから解放されたいという人も多いと思います。そんな安易な動機で参加しては困る、などと考えてはボランティアの輪は広がりません。

楽しみながらそれが再生・保全につながればよいという広い気持をもたなければ、多くの人の賛同を得、活動を継続することは困難だと思います。

「仕事」ではなく、「遊び」感覚で気長にとり組むことでまた成果も上がることでしょう。それでこそ共有財産としての「美しい自然」という共通認識も生まれてくることでしょう。

### 活動報告

9月30日(日)

第24回猪の瀬戸湿原再生プロジェクト

参加者19人を集めて開催しました。

猪の瀬戸湿原内に流れ込んでいたタイヤとエコライン沿いに不法投棄されたとみられるタイヤの合わせて84本を搬出しました。また、大量の不燃ゴミも同時に集めました。大きな成果が挙げられたと思います。

また、生野先生と小田先生は道路改良予定地の植生調査を実施しました。



活動報告	10月1日(月)	タイヤの回収
------	----------	--------



9月30日(日)に湿原内やエコライン沿いの斜面から搬出した84本のタイヤを、翌日(社)大分県産業廃棄物処理業協会の阿部さん他1名の方々がボランティアで回収しに来てくれました。

朝9時、猪の瀬戸三叉路に集合し、容易してくれたダンプにタイヤ

の積み込みをしました。世話人会からは児玉、首藤、工藤の3人が立会い積み込みを手伝いました。作業は20分程度で終了しました。

(社)大分県産業廃棄物処理業協会さんに感謝します。ありがとうございました。

モニタリング調査報告	9月	応用生態技術研究所 足立所長から
------------	----	------------------

猪瀬戸湿地における「草刈り」や「火入れ」の効果をモニタリング調査(追跡調査)しています。

今年で3年目になりますが、今年の秋の調査は9/6日(木)と9/30日(日)の2日間で実施しました。

調査は各調査区での植生調査レベルでの経年変化や高茎草本群の成長状態の確認を実施しています。草刈や火入れが植生に及ぼす影響(効果)は各調査区および経年毎に有意的に確認されています。

しかし、ここへ来て一番の問題は《出水による影響→砂礫の堆積→陸化(乾燥化)または砂礫の堆積による水路の変化による水環境そのものの変動》が確認されていることだと思います。今後の猪瀬戸全体の湿地環境自体の動向が心配されます。

ご案内	11月11日(9:30集合)	第26回 猪の瀬戸湿原再生プロジェクト
-----	----------------	---------------------

猪の瀬戸湿原周辺の森林環境調査に組みます。(あくまで予定であり、変更の可能性大です。)

場所：鞍ヶ戸尾根、日向岳

集合場所：RVアメリカン跡地

時間：9:30~15:00

\* 山林を歩きます。それに合わせた準備をしてきてください。

\* 筆記用具・弁当・水筒持参

発行：猪の瀬戸湿原保全の会 事務局 (工藤)

〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号 大分県企画振興部景観自然室内

電話：097-506-2122 FAX：097-506-1730

メール：[al0550@pref.oita.lg.jp](mailto:al0550@pref.oita.lg.jp)